

佳作

「感染症予防から治療まで～スタッフ、患者さんのために」

浅田怜子（キャプラン株式会社）

「なぜMRに転職したのか？」転職してMRになった私はよくこの質問を頂きます。最初は「人前で話をするのが好きだから」「大学で薬物代謝の勉強をしていたから」とただ漠然と回答していました。しかしMR研修を受けているうちに「患者さんのために」と言う大きな基本理念の基にMR活動は行われている事がわかりました。現在、MRとしてはまだ2年目の新人ですが、私が「MRになって良かった」と実感したことは沢山あります。その中の2つをご紹介します。私の担当医院でのことです。

定期訪問の際、ドクターより「院内で感染症予防対策の勉強会を定期的に開催しなければいけないのだけれど、貴社には何か資料とかある？」と質問されました。幸い弊社は感染症の予防から治療までの薬剤ラインナップがあり、感染症の勉強会には事欠きません。「直接、薬剤の紹介をする説明会ではありませんが、感染症対策の勉強会を行わせて頂けませんか？」とお願いしたところ、快く了解を頂き、院長はじめ医院のスタッフ、薬局、関連施設のディサービスのスタッフも一緒に1時間ほど勉強会の時間を頂きました。勉強会の中で患者さんから患者さんへの院内感染、または患者さんから医療従事者への感染などを防ぐ為の消毒、手洗い、うがいについて紹介し、実際に手洗いの実習を行いました。その際、ディサービスの介護スタッフの方からも大変ご興味を持っていただき、沢山の質問と患者さんと接していて気になることなどを教えて頂きました。

私たちMRはドクター以外のスタッフの方とじっくりお話をさせて頂く機会はあまり多くなく、実際に患者さんと接する時の気持ちは正確には分かりませんし、想像出来る範囲にも限界があります。ですので今回ドクターや特にスタッフの方々と直接お話し出来た経験はとても勉強になりました。そこで出た意見の1つが、「感染症になるのはいやだけれど、ゴム手袋を付けて介護するわけにはいかない。患者さんに失礼になる。」と言うご意見でした。確かに、おっしゃる通りです。そこで「どうしてゴム手袋を付けなければいけないのですか？」と伺ったところ、「介護する患者さんに白癬菌感染者がとても多い」という事実がわかりました。介護スタッフ、患者さん、どちらにとっても良い方法はないかと考えた結果、「白癬菌感染の患者さんを一斉に治療を開始してはいかがでしょうか」という提案を院長先生にさせて頂きました。そこで先生方から「あまり患者さんに負担をかけない方法

で治療をしたい」とのご要望があったので、弊社の後発医薬品での治療をお勧めいたしました。もちろん適正使用のためにドクターと薬剤師さんには弊社薬剤の詳細をお伝えし、それに加え、患者さんのためのベストな方法は何かを考え、治療の開始時期などの投与計画のお手伝いもさせて頂きました。

また、私は医院に毎日は何えなないため、薬剤管理の徹底は卸MSさんに多大なご協力を頂き、一緒に治療のフォローに取り組みました。現在、治療も終わり介護スタッフ、看護師さん方からは大変喜んで頂く事ができました。「患者さんは如何ですか？」と伺ったところ「患者さんも喜んでいたよ。やっぱり歳をとっても女性は気になるものなのですね〜。」と言われました。治療を終えた現在、自分の提案によって感染症治療が始まり、治療が終わるまで一緒にさせていただき大変達成感がありました。またスタッフの方、患者さんから喜んでいただけた事が何よりも嬉しかったです。

もう1つは、抗うつ薬の紹介をさせて頂いたドクターから、「処方した患者さん、とても元気になって、今では以前の元気を取り戻したよ!」と言って頂けた時など、本当に「MRになって良かった。」と感じます。まじめで一生懸命頑張っている方にうつ病は多く、周りの理解が得られず、どんどん悪化してしまうと聞くとても悲しくなります。そのような方々に「元気になって欲しい!」と強く思います。ご処方頂いたドクターより「今一効果が良くないのだけど・・・」と質問された時は、増量や場合によっては別の薬剤への切替を勧めたりします。その際、たとえ他社製品であっても「君の教えてくれた薬剤を使ってみたら良く効いたよ。患者さん大分明るくなってきた」と聞いた時は、参考にして頂けたことがとても嬉しくMRの仕事にやりがいを感じます。

以上、私の感じる「MRになって良かった」と思える体験ご紹介させていただきました。特にすごい事でもなく、派手な事でも、目立つことでもありませんが、日々の小さな事で達成感や喜びを感じます。日ごろ私は、会うことはない患者さんのためを思ってドクターに薬剤をご紹介しています。ややもすると営業成績ばかりを追いかけてしまい「患者さんのため」という大前提を忘れがちになります。その時はいつも、自分の身内を診てくれている主治医と話している気持ちで活動する様に心がけています。出来れば皆さんにとって、心身共に健康で明るい日々であるよう微力ながら頑張っていきたいと思っております。